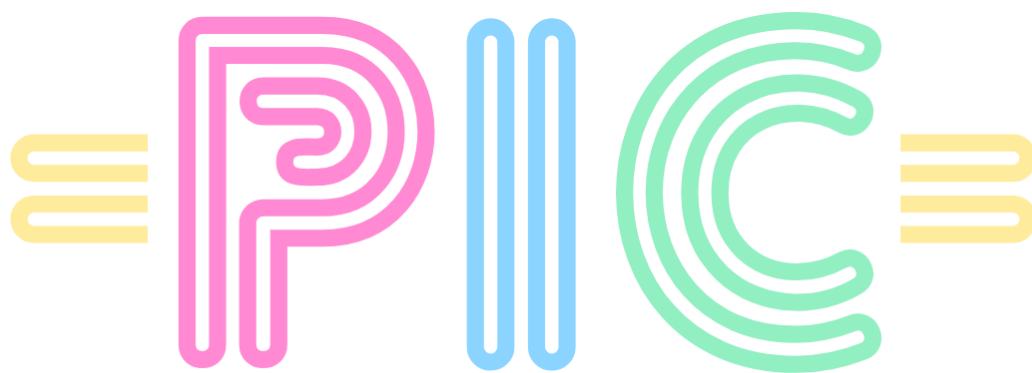




Project-based, Inquiry-based, Concept-based learning

プログラム概要

2026/2027年度

Table of Contents

プログラム概要.....	3
プログラムの価値観.....	3
1. 年齢に応じた学び.....	3
2. 楽しく、そして挑戦的な学び.....	3
3. 本質の理解.....	4
4. 自己実現と他者の幸福	
.....	4
プログラムの構成要素.....	4
1. 信州の雄大な自然の中での活動	
.....	5
2. 地域企業連携プロジェクト.....	5
3. 文部科学省中学校課程の履修.....	6
4. 英語による指導および National Geographic Learning LIFT カリキュラム.....	6
年間計画.....	7
所在地.....	9
週間スケジュール.....	9
PICポートフォリオ.....	10
卒業と進路.....	11
出願手続きと要件.....	12
授業料.....	12
お問い合わせ先.....	13

プログラム概要

ISN PICプログラムは、ISN初等部での学びを引き継ぐ4年間の学習プログラムであり、小学6年生からスタートします。

このプログラムは、プロジェクト型学習 (Project-based)、探究型学習 (Inquiry-based)、概念型学習 (Concept-based)を融合した教育アプローチを採用しています。つまり、世界中の3歳(幼児部)から11歳(小学5年生)までの生徒を対象とするIB PYP(国際バカロレア初等教育プログラム)**を基盤とした、ISN初等部の自然な延長線上にあるプログラムです。

PICプログラムは、英語と日本語による完全なバイリンガル環境の中で、グローバルとローカルを融合させたものです。日本の中学校課程を基盤としつつ、ISNが長年培ってきた探究的な学び、教室での学び、そして自然の中での学びを組み合わせています。

このプログラムは、生徒一人ひとりをかけがえのない個人として尊重し、それぞれの願いや目標を探りながら、自らの力で未来を形づくることを支援することに全力を注いでいます。

また、生徒の心身の健やかな成長と幸福を大切にするという理念のもと、ゼロから設計されたプログラムです。

プログラムの価値観

1. 年齢に応じた学び

中学校の時期は、高校や大学のように大きな責任を担う前の、かけがえのない大切な時間です。この時期の生徒たちは、小学校時代に育まれた好奇心・想像力・創造性を思う存分に発揮したいという強い意欲を持っています。彼らの関心・価値観・個性こそが、高校以降の学びへとつながる生涯学習の基盤となります。私たちは、この成長段階にふさわしい学び方や個々の目標設定を大切にしています。

2. 楽しく、そして挑戦的な学び

学ぶことの本来の目的と向き合いながら、私たちは一人ひとりの内なる学びの動機を探ります。「何のために学んでいるのか」「誰のために学んでいるのか」といった問いに向き合い、まずはその目的とつながり、意欲を感じられる状態をつくることを重視します。その上で、柔軟で適切なレベルの挑戦的な学びの体験を積み重ねていきます。学校生活を楽しみ、自らその楽しさを生み出す方法を理解している学習者は、将来にわたり幸福で充実した人生を送る力を身につけます。

3. 本質の理解

将来の予測が難しく、変化のスピードが極めて早い現代の「VUCA時代（変動性・不確実性・複雑性・曖昧性の時代）」においては、単に事実や表面的なスキルを学ぶだけでは十分ではありません。ISNの教育観を一貫して形づくってきた中心的な考え方のひとつは、「表面的な知識や技能を超えて、物事の本質的な意味や価値を理解し、その理解に基づいて考え、行動する力を育む」ことです。

4. 自己実現と他者の幸福

ISNの教育理念の一つである、**「自己信頼（自信）」＝「誠実さ（オープンな心）＋真摯さ（揺るがない一貫性）」**という考え方を育むことは、学習者が真の幸福を感じ、周囲の人々の幸福にも良い影響を与えることにつながります。自分の行動や表現が他者に影響を与え、また他者の行動や表現も自分に影響を与えることを理解し、幸福はどれだけ他者に与えられるかに比例することを学びます。そのような学習者は、やがて地域社会のリーダーとして成長し、より良い世界を実現するために自ら変化を起こす力を身につけていきます。また、他者と協働することで学びの機会はさらに広がり、より深い成長へとつながります。

プログラムの構成要素

PICプログラムは、4つの特徴的な要素を組み合わせた独自の学習プログラムです。これらの要素が互いに連携しながら、最適な中等教育を提供し、生徒に地域的視点と国際的視点の両方を育むとともに、将来の進学や卒業後の人生を形づくる知識・スキル・資格を身につけることを目的としています。



1. 信州の雄大な自然の中での活動

ISN五常キャンパスを取り巻く環境は、美しい山々の景観、香り、風、水、陽光、そして季節ごとに変化する緑に恵まれているだけでなく、そこに暮らす人々もまた、自然への感謝の心を持っています。農業や林業に携わる人々、地元で生まれ育った人々、そしてこの地に移り住んだ人々―皆が自然とともに生きています。

川・湖・山でのスポーツ、食の栽培・調理・実食、キャンプや四季の行事を楽しむことは、信州の人々の日常の一部です。彼らは自然への感謝と、自然を理解しようとする探究心を大切にしています。

私たちは、アウトドア活動を単なる「楽しい時間」としてではなく、生涯にわたる健康的な習慣を育み、集中力を高め、ストレスを軽減し(結果として他のすべての学びに良い影響を与える)、チームワークや問題解決力、自信、そしてレジリエンス(しなやかに立ち直る力)を養う貴重な学びの場と考えています。毎週金曜日、生徒たちは自然の中での活動に取り組めます。活動は近隣の自然環境で行う場合もあれば、バスで県内各地へ出かける場合もあります。

2. 地域企業連携プロジェクト

ISNがこれまで大切にしてきた「生涯にわたるスキルの育成」と「深い思考の促進」をさらに発展させるためには、そうしたスキルを実際の社会の中で活用し、実践することが重要です。

ISNコミュニティの多くのメンバーは、経営者や事業主として地域で活躍しています。そうした方々や、ISNを支援して下さる企業の皆さまのご協力のもと、PICプログラムでは**8つの「地域企業連携プロジェクト」**を実施します。それぞれ異なる業界の企業と連携し、6か月間の期間で進行するこれらのプロジェクトは、PICプログラムの中核を成す重要な取り組みです。

生徒たちは、各業界について学びながら、好奇心を育て、さらなる探究へとつなげる学びに取り組めます。実際の企業活動に関わる中で、その業界が抱える課題や現状を自ら見つめ直し、独自の視点から問いを立て、探究を深め、自分たちのアイデアとして発展・発表する機会を得ます。

初年度の生徒たちを対象に検討中の連携企業プロジェクトは以下の通りです。

- 農業・食品業界：地元野菜の直売店運営
- 小売業界：松本フェスティバルでのフードスタンド運営
- 製造業界：エコ製品の開発・製造体験
- 観光業界：信州観光ガイドの制作
- IT業界：地域課題解決アプリの企画
- 医療・福祉業界：高齢者支援サービスの企画
- エネルギー・環境業界：持続可能な地域社会モデルの提案
- 金融・保険業界：中学生向け金融教育プログラム

これらのプロジェクトの実施スケジュールは、7、8ページの「年間計画」の項目でご覧いただけます。

3. 文部科学省中学校課程の完全履修

日本の文部科学省が全国の学校で編成・実施している中学校教育課程は、公立・私立高校への進学(入学試験を通じて)を目指す生徒のための極めて重要な学習基盤です。このカリキュラムの主要な要素は、ISN独自のPICカリキュラムを構築する際の指針として取り入れられており、他のすべての学習分野とも密接に結びついています。

なお、文部科学省中学校課程およびNational Geographic LIFTカリキュラム(後述)をもとにした、ISN PICプログラムにおける生徒および教員の詳細な学習・指導目標一覧は、後日学校オフィスにてご希望の方に提供いたします。

4. 英語による指導および National Geographic Learning LIFT カリキュラム

午前および金曜日の授業は英語で行われ、National Geographic Learning社の「Lift」プログラムを参考教材として活用します。National Geographic Learningは、著名なナショナルジオグラフィック協会(National Geographic Society)の理念—「探究と学びの力によって、世界の驚異を照らし守る」—を教育の形で引き継いでおり、英語やその他の教科の学習を通して、生徒が必要なスキルを身につけながら世界とのつながりを発見し、共感する力を育む教材を発行しています。

National Geographic Liftプログラムは、多言語環境で学ぶ10代の生徒のために特別に設計された教材です。グローバルな文学・写真・映像など魅力的なコンテンツを用いた内容重視型授業によって、アカデミックな言語力とリテラシースキルを育てることを目的としています。これにより、生徒は批判的思考力・読解力・スピーキング力・ライティング力を総合的に伸ばします。中等部レベルでは、8～12の豊富なレッスンを収録した全6冊のテキストと関連教材で構成されています。

年間計画

PICプログラムの4つの要素は、それぞれ独自のカリキュラムと計画時間を持ちながら、「マンスリー・コンセプト(Monthly Concepts)」という共通の枠組みのもとで連携して進行します。このマンスリー・コンセプトとは、生徒が教師のサポートを受けながら、さまざまな資料や体験を通して多角的に探究し、理解を深めていくテーマです。

これらのコンセプトは、生徒が現在取り組んでいる文部科学省中学校課程の学習内容、National Geographic Liftプログラムでの学び、そして地域企業連携プロジェクトの進行段階を包括し、さらにその月に計画されている自然体験活動とも関連づけられています。

また、マンスリー・コンセプトは、地域企業連携プロジェクトや学年の進行に合わせて縦方向に積み上がるだけでなく、プログラム全体の4学年間で横方向にも連携し、学年間の深い協働を可能にします。

	G6		G7		G8		G9	
4月	地域社会の価値観	離洲 部 品	生態系	建 設 科	環境	産 業 技 術	上級生物学	エ ネ ル ギ ー 環 境
	LW1,2,3,4				L1-2,8			
	マウンテンバイク		マウンテンバイク		マウンテンバイク		マウンテンバイク	
	導入/講義		導入/講義		導入/講義		導入/講義	
5月	植物	小 売	動物	観 光	地球科学	商 科	人体	
			LI7		LF7, L1-5		L2-5	
	マウンテンバイク		マウンテンバイク		マウンテンバイク		マウンテンバイク	
6月	実践経験		実践経験		実践経験		実践経験	
	食と栄養		材料		化学反応と変化		上級化学	
	LW5,6				L1-3,4			
7月	カヤック		カヤック		カヤック		カヤック	
	発想と発表		発想と発表		発想と発表		発想と発表	
8月	気象学		地質学		天文学		環境科学	
	LW8,10,11		LI8				L2-6	
	宿泊キャンプ		宿泊キャンプ		宿泊キャンプ		宿泊キャンプ	
9月	研究		研究		研究		研究	
	自然災害		力と運動		電気		上級物理学	
10月	SUP		SUP		SUP		SUP	
	成果物の発表と提出		成果物の発表と提出		成果物の発表と提出		成果物の発表と提出	
11月	世界地理		大陸		世界の文化		文化理解	
	LW9		LF4		L2-4		L2-8, L3-1	
	アウトドアクッキング		アウトドアクッキング		アウトドアクッキング		アウトドアクッキング	
12月	振り返り		振り返り		振り返り		振り返り	
	日本の地理	小 売	日本の都道府県	観 光	長野県	商 科	地域産業	商 科
1月	シェルターづくり		シェルターづくり		シェルターづくり		シェルターづくり	
	導入/講義		導入/講義		導入/講義		導入/講義	
2月	料理		木工		プログラミング		個人金融	
	LW7		LF3,5,8		L2-3,7		L3-4,5	
	オリエンテーリング		オリエンテーリング		オリエンテーリング		オリエンテーリング	
3月	実践経験		実践経験		実践経験		実践経験	
	絵画と彫刻		演劇		デザイン		音楽	
	LI5		LF2				L3-2	
4月	冬ハイキング		冬ハイキング		冬ハイキング		冬ハイキング	
	発想と発表		発想と発表		発想と発表		発想と発表	
5月	世界史入門		産業革命		近代世界史		国際関係	
	LI1,2				L1-7		L3-6,7	
	スノーウォーク		スノーウォーク		スノーウォーク		スノーウォーク	
6月	研究		研究		研究		研究	
	日本の歴史:江戸時代		日本の歴史:明治時代		戦後日本		現代の課題と国際理解	
	LI3,4						L3-3	
7月	スノースポーツ		スノースポーツ		スノースポーツ		スノースポーツ	
	成果物の発表と提出		成果物の発表と提出		成果物の発表と提出		成果物の発表と提出	
8月	民主主義		政治		公民		進路指導	
	LW12, LI6		LF6, L1-1		L2-1,2		L3-8	
	ハイキング		ハイキング		ハイキング		ハイキング	
9月	振り返り		振り返り		振り返り		振り返り	

文部科学省 中学校課程

地域企業連携プロジェクト

英語による指導

自然の中での活動

所在地

ISN PICプログラムは、ISN五常キャンパスで実施されます。豊かな自然環境に囲まれたこの場所は、自然の中での活動に最適であり、また日常的な学習に集中できる静かな環境を提供します。

このキャンパスはISN初等部の学びの場でもあり、音楽室・美術室・家庭科室などの施設をPICの生徒も利用することができます。たとえば、屋内体育の授業は松本市の四賀体育館で初等部と合同で実施し、水泳の授業は四賀B&G屋内プールで行います。

また、キャンパスとJR明科駅を結ぶスクールバスシャトルが運行されます。このシャトルバスでの移動時間は、個別学習の時間として活用されます。

週間スケジュール

PICプログラムの4つの要素には、それぞれ専用の時間枠が週間スケジュール内に設けられています。PICプログラムは柔軟性を重視しているため、週ごとに一部の変動があることも想定され、歓迎されています。しかし、基本的な構成はISN初等部と共通しており、PICプログラムの生徒が年下の児童たちと協働する機会を多く持てるよう設計されています。

月曜から木曜の午前中は、授業がすべて英語で実施されます。教材には、National Geographic社のLiftプログラムおよび文部科学省中学校課程を参考とし、英語・数学・理科・社会・美術の学習を行います。また、生徒は英語の基礎力向上を目的とした特別英語レッスンや、専科教員による音楽・体育の授業にも参加します。

午後の時間は日本語による授業が行われます。これらの授業は主に文部科学省中学校課程の国語・数学を中心に構成されていますが、同時にその月のマンスリー・コンセプトに関連した他教科の要素も取り入れています。

金曜日は、自然の中での活動および個別学習の時間として設定されています。この時間には、生徒が自分で選んだプロジェクトや関心のある分野に取り組み、教師の全面的なサポートを受けながらスキルを磨くことができます。

以下に週間スケジュールの一例を示します。

	月	火	水	木	金
7:50-8:30	スクールバス / 個別学習				
8:30-8:45	休憩				
8:45-9:00	朝の会				
9:00-10:30	マンスリーコンセプト学習 (英語で実施)				自然活動 (英語で実施)
10:35-10:55	休憩				
11:00-12:25	マンスリーコンセプト学習 (英語で実施)				
12:30-13:20	昼食休憩				
13:25-13:35	清掃				
13:40-14:35	国語(日本語で実施)				個別学習
14:40-15:35	数学(日本語で実施)				
15:40-16:35	スクールバス / 個別学習				
16:40-17:35	夕方プログラム / 個別学習				

PICポートフォリオ

PICポートフォリオは、ISN在学中にPICプログラムの生徒が制作したすべての学習成果をデジタルでまとめた、常に進化し続ける記録です。これは、生徒一人ひとりの**学びの軌跡を可視化する「生きた記録」**であり、学業面での成長と個人としての成長の両方を捉え、自己評価のツールとしても機能します。

このポートフォリオは、生徒が自分の取り組みを整理・発信するための中心的な場となり、自分の強みや課題を振り返り、今後の目標を設定することで、学びに対する主体性を高めます。学年の節目には、生徒自身がポートフォリオを見直し・更新し、教師からのフィードバックを受け、また保護者と成果を共有し成長を祝う機会とします。

プログラム修了後には、PICポートフォリオは進学希望先の高等学校に共有され、生徒の次の学びへの準備状況を示す資料として活用されます。ご希望に応じて、印刷版ポートフォリオの発行も可能です。

卒業と進路

PICプログラム修了時には、ISNより修了証書が授与されます。また、生徒は在籍している公立中学校からも卒業証書を受け取り、日本の中学校卒業資格を正式に取得します。活動記録はPICポートフォリオの形式で提供されます。

公立・私立高校のうち、入学試験の得点を重視する学校への進学を希望する場合、生徒は在籍している公立中学校を通じて、他の生徒と同様に受験・出願を行うことができます。公立高校の可否は基本的に試験結果に基づいて決まりますが、同点の場合には、PICポートフォリオが「活動・関心・成果の記録」として、従来の内申点の代わりに参照されます。これらの活動記録は数値的な内申点と比較され、どの生徒がその高校により適しているかが総合的に判断されます。

プログラム全期間を通して、特に最終学年では、生徒に対して担任教師および外部協力者による包括的な進路指導が行われます。指導内容は、地域の公立・私立高校、国内のインターナショナルスクール、そして海外の教育機関を含みます。ISNは進学先の種類による差別を一切設けず、生徒が選んだ進路に応じて個別かつ手厚いサポートを提供します。

以下に、進路準備スケジュールの概要を示します。

1月	2月	3月	4月
試験対策	試験対策	出願および試験	入学
			授業開始
出発	授業開始		
最終出願	合否結果	入学手続き	ビザ申請
5月	6月	7月	8月
学校選定	ビザ申請	ホームステイ手配	航空券予約
	渡航準備		出発準備完了
		学校訪問	
9月	10月	11月	12月
説明会	オープンキャンパス	出願準備	最終確認
授業開始			
授業開始	学校調査	出願準備	出願受付開始
学校選定	支払い	ビザ申請	

 海外公立学校 (Aタイプ)	 海外公立学校 (Bタイプ)	 海外私立・インターナショナルスクール	 国内公立学校	 国内私立・インターナショナルスクール
---	---	--	--	--

出願手続きと要件

PICプログラムの出願手続きは、個別入学説明会・校内見学・個別面接（志望動機面談）・情報説明およびQ&Aセッションから始まります。すべての出願は個別に丁寧に審査され、出願から約1か月以内にご家庭へ直接結果をお知らせいたします。

出願の流れは以下の通りです：

1. 出願期間：6月に在校生優先の第一次受付を行い、9月にすべての応募者を対象とした第二次受付を実施します。
2. 面接：9月から11月にかけて面接を実施します。
3. 入学確定：面接合格後、入学登録料の納入をもって正式に入学が確定します。
4. 制服採寸：12月に制服の採寸を行います。
5. オリエンテーション：2月に新入生・保護者向けオリエンテーションを実施します。その際に制服のお渡しも予定しています。
6. 入学式：入学式は4月に行います。

PICプログラムのすべての生徒は、以下の条件を満たしている必要があります。

- プログラムに対する高い意欲と主体的な姿勢を持っていること。
- **中級以上の英語力（スピーキングおよびライティング）**を有していること。
- 地元の公立中学校に在籍し、ISNに登録していること。
- 個人用パソコン（PC）を所有していること。

授業料

入学登録料	30,000円 /年
授業料	98,000円 /月
施設維持費	125,000円 /年
制服費	約40,000円（イギリスからの直輸入のため）
全額または一部奨学金	英語力またはその他の学業成績が優れている生徒を対象としています。詳細は学校オフィスまでお問い合わせください。

お問い合わせ先

PICプログラム、その内容、または出願手続きに関する詳細につきましては、以下の連絡先までお気軽にお問い合わせください。

ISN PICプログラム

電話: 0263-87-8418

メール: office@isnedu.org

住所:

〒399-7401

長野県松本市五常6387-1

担当者: ヨンゲーリウス、チョリチ

オンラインお問い合わせ:



isnedu.org

instagram.com/isngojo